

# 令和6年度 長崎大学大学院教育学研究科 (専門職学位課程) 学生募集概要

## 1 専攻及び募集人員

教育学研究科では、精深な専門知識と技能を授けることにより、創造性豊かな研究能力と高度な教育実践力を備えた人材を育成することを理念とし、教職と教科に関する高い専門的な知識と能力を修得し、学校教育に係る優れた実践能力と資質を備えた人材を養成すること、また現職教員の再教育にも努め、教員の資質の向上及び学校教育の振興に資することを目的とする。そのため、本専攻では、教育の基本的な5領域（①教育課程の編成・実施に関する領域、②教科等の実践的な指導方法に関する領域、③生徒指導、教育相談に関する領域、④学校経営、学級経営に関する領域、⑤学校教育と教員の在り方に関する領域）に加えてICT活用に関する知識・技能を獲得し、教育現場での実践を重ねることによる教育課題解決に向けた実践力の向上を図る教育課程を編成している。

専攻	コース	概要	募集人員 28名(4名程度)(注)	
			1期※	2期※
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース	子どもたち一人ひとりの個性と教育的ニーズを的確に把握し、適切な指導と支援を行うことのできる高い専門知識と実践力を持つ教員を養成する。	合格予定者 14名程度 を目安 (2名程度) (注)	合格予定者 14名程度 を目安 (2名程度) (注)
	学級経営・授業実践開発コース	活力ある学級を作り、効果的な授業を実践できるとともに、学級・学校の機能をより向上させるマネジメント能力と、適切な教育課程を編成する力、授業を改善する力等を備えた、高い実践力を持つ教員を養成する。		
	教科授業実践コース	教科内容に対する確かな理解と児童・生徒に対する深い理解に基づき、各教科を効果的に指導することができる高い授業実践力を持つ教員を養成する。		
	管理職養成コース (1年プログラム)	「長崎県校長等としての資質の向上に関する指標」に示された管理職に求められる高い識見を備え、高度な組織マネジメントを行う素養を持つ教員を養成する。		

※入学者選抜は1期(9月実施)及び2期(11月実施)に分けて行うため、それぞれの手続き期間に注意すること。なお、9月に実施する入学者選抜を1期、11月に実施する入学者選抜を2期とする。

1期の合格者が予定人員に満たない場合は、2期の合格予定者に加えて選抜する。

(注)募集人員における( )内は、外国人留学生の募集人員で内数である。

## 2 出願手続(本研究科所定の出願書類等を使用のこと。)

### [1年プログラム申請者]

- (1) 出願期間  
1期 令和5年7月18日(火)～令和5年7月21日(金)  
2期 令和5年10月2日(月)～令和5年10月6日(金)
- (2) 検定料振込期間  
1期 令和5年8月17日(木)～令和5年8月23日(水)  
2期 令和5年10月25日(水)～令和5年10月31日(火)

- (3) 出願書類等提出先 〒852-8521 長崎市文教町1番14号  
長崎大学人文社会科学域事務部北地区事務課大学院第二係

### [2年プログラム・3年プログラム申請者]

- (1) 検定料振込期間  
1期 令和5年8月17日(木)～令和5年8月23日(水)  
2期 令和5年10月25日(水)～令和5年10月31日(火)
- (2) 出願期間  
1期 令和5年8月17日(木)～令和5年8月23日(水)  
2期 令和5年10月25日(水)～令和5年10月31日(火)

- (3) 出願書類等提出先 〒852-8521 長崎市文教町1番14号  
長崎大学人文社会科学域事務部北地区事務課大学院第二係

3 試験期日

1期 令和5年9月23日(土)

2期 令和5年11月25日(土)

4 合格者の発表

1期 令和5年10月5日(木) 10時

2期 令和5年12月7日(木) 10時

教育学部玄関前に掲示(～17時)するとともに、合格者に対し合格通知書を発送する。

また、同日午前10時以降、長崎大学大学院教育学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲載する。

(アドレス: <https://www.gedu.nagasaki-u.ac.jp/>)

なお、電話による可否についての問い合わせには一切応じない(FAX・電話による通知も一切行わない)。

5 入学者選抜方法 1期・2期ともに選抜方法は同じ。

I. 一般入試及び外国人留学生入試

入学者の選抜は、学力検査〔筆記試験(実技を含む)及び面接試験〕及び提出された書類の審査結果を総合して行う。

ただし、1年プログラム(現職教員のみ)の履修を希望する場合は、本研究科と長崎県教育委員会等で構成する判定委員会で審査を行う。

II. 学力検査科目

(1) 1年プログラム【一般入試のみ】

提出された書類に基づき、学校教育や実践研究等について面接試験を行う。

(2) 2年プログラム・3年プログラム共通(筆記試験を課す者)

専攻	コース	筆記試験(実技を含む)		面接試験
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース	専攻共通科目: 「学校教育に関する問題」	コース選択科目: ①「児童生徒理解に関する分野」 ②「特別支援教育に関する分野」 上記①又は②から1つを選択。(注2)	提出された書類に基づき、学校教育や実践研究等について面接試験を行う。
	学級経営・授業実践開発コース	○教育課程の編成・実施に関する分野	コース選択科目: 「学級経営と授業実践に関する分野(教育課程の編成・実施及びICT活用を含む)」	
	教科授業実践コース	○教科等の実践的な指導方法 ○生徒指導に関わる分野 ○学校経営・学級経営に関する分野 ○教員の在り方に関わる分野	コース選択科目: 別表1に示す①～⑨から1つを選択。 ① 国語 ② 社会 ③ 理科 ④ 音楽 ⑤ 美術 ⑥ 保健体育 ⑦ 技術 ⑧ 家庭 ⑨ 英語	

(注) 1. 入学志願票, 写真票及び受験票の該当欄に受験する科目等を記入すること。

2. 子ども理解・特別支援教育実践コースの受験者においては, 受験するコース選択科目は, 「実践研究計画書」の内容と一致する分野の科目であること。

(3) 2年プログラム・3年プログラム共通(筆記試験を免除された者)【一般入試のみ】

提出された書類に基づき、学校教育や実践研究等について面接試験を行う。

(注) 次の推薦要件に該当し, 人物に優れ, 志願者の所属する学部(又は大学)等の長が責任をもって推薦できる者で, 合格した場合には入学することを確約できる者については, 筆記試

験を免除する。

〔推薦要件〕 以下のA, B又はCのいずれかに該当すること。

A. 現職教員。

B. 公立学校教員採用選考試験の第一次試験（これに類する名称を含む筆記試験）に合格し採用候補者名簿登載期間の延長を申請した者又は申請予定の者。

C. 学業成績に優れている者。

別表1 教科授業実践コース選択科目

番号	選択科目	内 容
①	国語	A及びBの2科目を出題する。 A. 「国文学」 B. 「国語学」, 「漢文」から1つを選択。
②	社会	「地理歴史」, 「公民」から1つを選択。
③	理科	「物理学」, 「化学」, 「生物学」, 「地学」, 「理科教育」から1つを選択。
④	音楽	A及びBの両方を課す。 A. 小学校の歌唱共通教材或いは中学校の歌唱教材の中から任意の1曲を弾き歌いする。 B. 声楽, ピアノ, 器楽（管弦打楽器）のいずれかで, 任意の楽曲を演奏する。
⑤	美術	「美術」（美術科教育・美術理論・美術史・絵画・彫刻・デザイン・工芸の分野から出題する。）
⑥	保健体育	「保健体育総合」（保健体育に関する総合的な知識を問う。）
⑦	技術	「技術総合」（技術・家庭（技術分野）に関する総合的な知識を問う。）
⑧	家庭	「家庭総合」（家庭科の各分野から出題する。）
⑨	英語	「英語」（英語学・英米文学・異文化理解・英語科教育法の分野を含む総合的問題を出題する。）

(4) 試験期日及び時間

専攻	コース・プログラム	1期：9月23日（土）/2期：11月25日（土）		
		筆記試験（実技を含む）		面接試験
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース	専攻共通科目 (100点) 9:00~10:00	コース選択科目 (150点) 10:50~11:50	(100点) 13:20~
	学級経営・授業実践開発コース			
	教科授業実践コース			
	管理職養成コース			

1. 受験者は、試験開始20分前までに入室，着席すること。なお、面接試験においては試験開始30分前までに面接控室に入室，着席すること。面接試験のみの場合，面接控室への集合は12:20以降とする。
2. 試験開始後30分以内の遅刻者は受験を認めるが，試験時間の延長はしない。また，30分を超える遅刻者には受験を認めない。ただし，面接については，試験開始30分前を過ぎて面接控室に入室した場合，特別な事情がない限り，受験を認めない。

## 6 入学手続

1期 令和5年10月27日（金）から令和5年10月31日（火）

2期 令和5年12月25日（月）から令和5年12月27日（水）

合格者への入学手続関係書類は、合格通知に同封する。

郵送により入学手続を行うことは可能であるが、手続期間内に必着するよう郵送すること。

## 7 入学時に必要な経費（詳細は、募集要項に記載）

入 学 料：282,000円

授業料[年額]：535,800円（前期分267,900円，後期分267,900円）

参考：令和5年度の授業料額（授業料は改訂される可能性がある。）

## 8 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置について

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置の適用を希望する現職教員等に対しては、高等教育を受ける機会を拡大するための措置を次のとおり実施する。

### (1) 修業年限

この特例の適用を受ける者は、修業年限2年間のうち、後半の1年間は夜間等における履修を認める。

### (2) 履修方法

- ① 特例を適用する場合、現職教員等は2年間のうち、最初の1年間は現職を離れて通常の時間帯の通学履修を原則とする。
- ② 後半の1年間は在職校等で勤務しながら、週1回以上定期的に通学し夜間の時間帯で研究指導を受ける。
- ③ 特例による授業時間帯は夜間（6校時 18時00分～19時30分，7校時 19時40分～21時10分）及び夏季・冬季休業期間とし、必要に応じて特定の曜日にも授業を行う。

## 9 出願書類等の請求

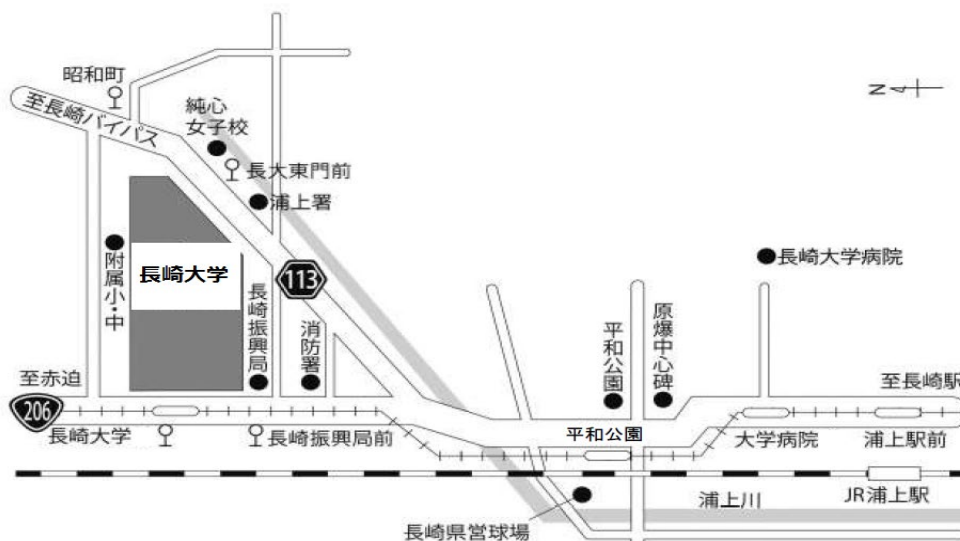
出願書類等の請求は、封筒に「大学院教育学研究科学生募集要項請求」と朱書し、あて名明記の返信用封筒（角形2号 250円切手貼付，速達の場合 510円）を同封の上、下記あてを行うこと。

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学人文社会科学域事務部北地区事務課大学院第二係

電話 095-819-2266

## 10 試験場案内図



募集要項の内容は、長崎大学大学院教育学研究科のホームページにも掲載しています。

<https://www.gedu.nagasaki-u.ac.jp/>